

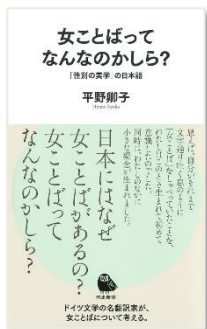


『おひとりさまの親と私の「終活」完全ガイド』（分類：6-二）

編：日経 WOMAN 日経BP 2020年

シングルでもパートナーや子どもがいても、人生の終盤は誰もが「おひとりさま」になるケースが多い。介護、医療、住まい、お墓、相続などの幅広い分野で知っているのと役に立つルールや社会制度、手続きに必要な情報が図や表でわかりやすく整理されている。

人生後半の課題に備えて、漠然とした不安を一つでも多く取り除き、前向きに生きていくための指針となるだろう。



『女ことばってなんなのかしら？』（分類1-七）

著：平野卿子 河出書房新社 2023年

女ことばでは、悪態をつくことも命令形で話すこともできない。身の危険を感じた時、「やめろ！」は命令なのに「やめて！」はお願いになってしまう。いつの時代からこうなったのか？日本語は海外の言葉と比べてどんな特徴があるのか？女ことばと男ことばの違いから社会で求められる性別での役割とは何か？言葉から生み出される差別とは？これまで疑問に思わなかった言葉に対して多角的に客観的に視野を広げてくれる目からウロコの一冊。



『江戸の女子旅』（分類8-タ）

著：谷釜尋徳 晃洋書房 2023年

車も鉄道もインターネットも携帯電話もない江戸時代の女性たちはどんな旅をしたのだろう。江戸時代には街道の位置情報や宿場間の距離、人馬を雇う賃金、神社仏閣、名所、名物、名産品、道中で起こるトラブル対応まで書かれた旅行案内書が刊行されており、歩くことがメインの女子旅に役立っていたという。女人禁制の寺や熊野古道の難所、大河を渡る苦難など女性特有の苦労もあるが、1日平均30キロを歩いて何日も移動し、お買い物にグルメ、伊勢参りや芝居見物を大いに満喫し、旅を楽しむ江戸の女性たちの活力が伝わってくる。

DVD 『ぼけますから、よろしくお願いします。』

監督：信友直子 2018年 日本 102分

認知症を患い困惑する母と95歳で初めて家事に挑戦し妻を支える父との暮らしをひとり娘である監督が撮ったドキュメンタリー映画。

介護サービスを利用し地域の力を借りながら、家族それぞれがお互いを尊重し、支え合い、日々を笑顔で過ごす姿が描かれている。お互いさまの発想で誰もが「ぼけますからよろしくお願いします」と言える社会を広めていきたいという監督の願いが込められている作品。





『最期まで在宅おひとりさまで機嫌よく』（分類：6-U）

著：上野千鶴子 中央公論新社 2022年

「在宅ひとり死」を提唱する社会学者の著者が、橋田壽賀子、桐島洋子ら自分なりの生き方を貫く女性10人のロールモデルと「おひとりさまの生き方」をテーマに語り合った対談をまとめた1冊。

人生後半の生き方や老い方に多様な選択肢が示され、人生100年時代で叶える「理想の最期」のヒントを与えてくれるのではないだろうか。



『若葉荘の暮らし』（分類：10-H）

著：畑野智美 小学館 2022年

感染症の影響を受け、売上が激減した洋食店のアルバイト店員ミチルは収入が減り引っ越しを余儀なくされる。そんな彼女に友人が紹介してくれたのは、40歳以上独身女性限定のシェアハウス「若葉荘」。それぞれに事情や不安を抱えながらもたくましく生きる住人たちとの交流の中で、ミチルは自分の幸せを自分で叶える術を身につけていく。

生きづらさを感じながらも懸命に生きる彼女らが歩み出した未来に、自分らしく前向きな一歩を踏み出す勇気が湧いてくる。



『食べるたのしみ』（分類：10-T）

著：田辺聖子 中央公論新社 2023年

恋愛小説や大阪弁でユーモアあふれる現代小説などを残した著者が、1960年～1990年代にかけて書いた「食」にまつわるエッセイ集。通いつめた神戸の市場、奄美の豪快な豚料理、旬の食材を使って料理をしたり誰かと囲む賑やかな食卓から、「食」で人生を豊かにするエピソードが数多く綴られている。

長引く物価高による節約疲れのなか、日々が少しずつ楽しくなる「食」の工夫を取り入れてみたい。



『「なりたい自分」へ加速する問いかけコーチング』（分類：3-I）

著：一条佳代 三笠書房 2022年

コーチングとは「答えはその人の中にある」という原則に基づいて、相手が本来持っている可能性を最大限に発揮できるようサポートするコミュニケーション技法のひとつ。その技法を自分自身に取り入れた著者が伝えるのは、心の奥底に潜んでいる意識に目を向け、自分の本当の望みを叶えるというもの。ときに他者からの評価が私のなりたい自分に変換されてしまっていることがあるという。自分で自分に問いかけるワークを通して、心が弾む自分を探してみよう。



『子育てと介護のダブルケア』（分類5ーワ）

編著：渡邊浩文、森安みか、室津瞳、植木美子、野嶋成美 中央法規出版 2023年
子育てと親等の介護が同時進行している状況を「ダブルケア」という。本書では、基本的な考え方や現状を解説し、26の事例について、経験者・当事者、多種多様な専門職や支援者がそれぞれの立場でコメントする。様々なケースから出てくるニーズや支援に役立つ制度や知識が整理され、ダブルケアがより多くの人に知られることで、当事者だけに負担を強いるのではなく地域や社会で何ができるのか今一度考えたい。



『50代からの生き方のカタチ』（分類：1ーカ）

編著：関西学院大学ジェネラティビティ研究センター アルソス 2022年
人生100年時代といわれ、後半の人生をどう生きるかという不安や迷いが出てくる50代。家庭や仕事、年老いていく親やこの先の自分のこと、そんな人生の選択に迫られる女性に向けて、社会の第一線で長く活躍する12人の先輩女性からのメッセージがまとめられている。人生の少し先を歩く「姉たち世代」から、幸せは日々の小さな努力の積み重ねによって築かれることを学べば、これからの人生を前向きに歩む勇気がきっと湧いてくるだろう。



『電車の窓に映った自分が死んだ父に見えた日、スキンケアをはじめました。』（分類：1ーイ）

著：伊藤聡 平凡社 2023年
テレワークに伴う長期の不摂生の後、電車の窓に映った自分が亡き父に見えたことに驚き、スキンケアを始めたアラフィフ会社員。未知の分野に足を踏み入れた著者の男性美容とセルフケアをめぐる笑いと感動の体験記。「スキンケアは恥ずかしい」という男性特有の葛藤との向き合い方、女性の美容の目的は周囲からの評価ではなく、自分を大切に作る作業だったなどの著者の気づきが綴られている。美容を通して自分自身を労わること、多くの人に浸透している固定観念や先入観について考えるきっかけを作ってくれる。

DVD 『マイ・ニューヨーク・ダイアリー』

監督：フィリップ・ファラルドー 2020年 アイルランド 101分

1990年代のニューヨークの老舗出版エージェンシーを舞台に、「ライ麦畑でつかまえて」などで知られるアメリカの小説家J・D・サリンジャーを担当するベテランエージェントと作家をめざす新人編集アシスタントの知られざる実話を映画化した作品。

若き主人公が理想と現実の間で揺れ動きながらも、仕事やプライベートに向き合い成長する姿は、夢や目標に向けて自分らしく生きる気持ちを後押ししてくれる。





『南極の食卓 女性料理人が極限の地で見つけた暮らしの知恵』（分類8-ウ）

著：渡貫淳子 家の光協会 2023年

南極地域観測隊に昭和基地史上2人目の女性調理隊員として参加した著者が、南極での体験を振り返る。1年分の食材を仕入れ、追加の補給がないなかで30人分の食事作りを担当した。ごみは全て日本に持ち帰る必要がある状況でどんな料理を作り、いかにして食品ロスを減らしたのか。制限された環境だからこそ生まれる暮らしの工夫や楽しみ方は、日常生活にもつながる知恵や気づきが詰まっている。



『365日機嫌のいいカラダでいたい。』（分類：3-オ）

著：及川タ子 監修：高橋幸子 ディスカヴァー・トゥエンティワン 2022年

生理、妊娠・出産、更年期など、女性のライフステージごとに知っておきたいヘルスケアの情報と、心や身体の悩みや不調の解決に役立つフェムテック（女性特有の健康課題をテクノロジーによって解決する製品やサービス）を紹介する。

自身のカラダに関する知識と様々な選択肢を持つことで、事前に備えることができ、また女性が自分らしく健やかに生きる上での助けとなるだろう。



『超初心者でも稼げる在宅ワークの始め方』（分類：7-ノ）

著：野川ともみ あさ出版 2021年

専業主婦から在宅で起業し、5年で年商2億円となった著者。これまで200人以上の女性に在宅ワークの方法を伝えてきた経験から、始め方、職種の選び方、成功するコツまでがわかりやすくまとめられている。在宅ワークを始めたい人はもちろん、結婚、子育て、介護など、ライフスタイルの変化に合わせて働きたい人、副業したい人、起業したい人が特別なスキルではなく、自分の「強み」を活かした働き方を始めるのにおすすめしたい一冊。

DVD 『リトル・ガール』

監督：セバスチャン・リフシッツ 2020年 フランス 88分

フランス北部エヌ県に住む7歳の少女サシャ。出生時、彼女に与えられた性別は”男性”だったが2歳頃から自分は女の子であると訴えてきた。しかし、学校へスカートをはいて通うことは認められず、バレエ教室では男の子の衣装を着せられる。彼女を女の子として扱わない社会で、子どもの自由と幸せを守るために奮闘する母とその家族の想い。サシャのまっすぐな瞳と強い意志が、観るものの心を動かすドキュメンタリー映画。





『母親になって後悔してる』（分類 4-オ）

著：オルナ・ドーナト 新潮社 2022年

もし時間を巻き戻せたら、再び母になることを選びますか？この質問に「ノー」と答えた23人の女性にインタビューし、その記録をまとめた本書。母親になることで経験する多様な感情を明らかにし、女性は母親になるべきであり、母親は幸せなものであるという社会常識の中で苦しむ切実な想いを伝える。親も子どもも幸せな社会をつくるには、産みたくないと感じる人、子どもを大切に思っても親になって後悔している人の声こそ尊重され耳を傾けてほしいという著者の思いが伝わってくる。



『女王さまのワードローブ』（分類：K-ジ）

文：ジュリア・ゴールドディング 絵：ケイト・ヒンドレー BL出版 2022年

25歳で女王となりイギリスで最も長く王位に就いたエリザベス二世。ワードローブを通して彼女の人生をたどる伝記絵本。王室に伝わる衣装や王冠などの装飾品、帽子コレクションの美しいイラストはファッション雑誌を見ているかのよう。きらびやかな場面だけでなく、戦時中には軍に入隊し作業着で大型車両の整備をしたり、近年でも服を大切に修理したコートなどを身に着けたエピソードからも国民とともにあり続け、女王を誠実に務め上げたひとりの女性の姿がみえてくる。



『人間関係のモヤモヤは3日で片付く』（分類：3-タ）

著：田房永子 竹書房 2022年

母からの過干渉に悩み、その確執と葛藤を描いたコミックエッセイを刊行した著者が、マコという架空の人物を設定し、あらゆる人間関係のモヤモヤの片付け方を11話の漫画で紹介している。感情に良いも悪いもなく無理に自分の感情を曲げようとしないことが自分も相手も必要以上に傷つけず、適切な人間関係を築けるようになるコツだという。苦手な親との向き合い方や、同僚からそっけない態度をとられたとき、パートナーのことが好きだけど嫌いになるときなど、心のモヤモヤを感じた時に試してみてもいい。

DVD 『ラフィキ ふたりの夢』

監督：ワヌリ・カヒウ 2018年 ケニア、南アフリカ、フランス、レバノン、ノルウェー、オランダ、ドイツ 82分
 看護師をめざす少女ケナは、母と離婚した父親とは離れて暮らしているが、国会議員に立候補した父を応援している。

そんなある時、父の対立候補の娘で自由奔放な少女ジキと出会う。互いに強く惹かれ合い友情が恋心へと変わり始めたとき、ふたりはこの恋は命がけだと知る—。

カンヌ国際映画祭史上初の出品となるケニア作品にもかかわらず、ケニア国内では主人公たちが違法な恋に落ちることを理由に上映禁止となった本作。自由な恋愛と幸せな未来を夢みるふたりの姿を通して自分らしく生きること、差別や偏見を持たず違いを認め合うことの大切さを強く感じる作品。



イコーラム図書つうしん No.67

発行：令和5年4月
 発行者：東大阪市立男女共同参画センター
 イコーラム 情報資料室
 TEL：072-960-9201



イコーラム情報資料室 令和4年度ベスト貸出

☆令和4年度ベスト貸出を図書とDVDに分けてご紹介します。

【図書】

順位	回数	タイトル	著者	出版社	出版年	分類
1	11	87歳、古い団地で愉しむひとりの暮らし	多良美智子	すばる舎	2022年	6夕
	11	ちょっとしたことでうまくいく 発達障害の女性が上手に生きるための本	沢口千寛	翔泳社	2021年	3サ
3	10	自転しながら公転する	山本文緒	新潮社	2020年	10ヤ
	10	星を掬う	町田そのこ	中央公論新社	2021年	10マ
	10	わたしの容れもの	角田光代	幻冬舎	2016年	3カ
6	9	サキの忘れ物	津村記久子	新潮社	2020年	10ツ
7	8	風よあらしよ	村山由佳	集英社	2020年	10ム
	8	本当はごはんを作るのが好きなのに、しんどくなった人たちへ	コウケンテツ	ぴあ	2020年	8コ
	8	雪のなまえ	村山由佳	徳間書店	2020年	10ム
10	7	50歳から花開く人、50歳で止まる人	有川真由美	PHP研究所	2022年	7ア
	7	90歳セツの新聞ちぎり絵	木村セツ	里山社	2020年	6キ
	7	家族だから愛したんじゃないくて、愛したのが家族だった	岸田奈美	小学館	2020年	10キ
	7	部屋を片づけたら人生のミラーボールが輝きだした。1日15分のノラ式実践法	平野ノラ	KADOKAWA	2022年	4ヒ
	7	在宅ひとり死のススメ	上野千鶴子	文藝春秋	2021年	6ウ
	7	人間関係のモヤモヤは3日で片付く	田房永子	竹書房	2022年	3夕
	7	秘密を語る時間	ク・ジョンイン	柏書房	2021年	2ク
	7	マインドフルネスで「わたし」を大切にできる自分になる	荻野淳也	日本能率協会マネジメントセンター	2021年	3ハ
	7	私がお金で困らないためには今から何をすればいいですか？	井戸美枝	日本実業出版社	2021年	9イ

【DVD】

順位	回数	タイトル	監督	製作国/制作年/時間
1	11	世界で一番しあわせな食堂	ミカ・カウリスマキ	フィンランド・イギリス・中国合作/2019年/114分
2	8	チャンシルさんには福が多いね	キム・チョヒ	韓国/2019年/96分
	8	ミナリ	リー・アイザック・チョン	アメリカ/2020年/116分
4	7	クララ・シューマン 愛の協奏曲	ヘルマ・サンダース＝ブラームス	ドイツ・フランス・ハンガリー合作/2008年/109分
5	6	オレンジと太陽	ジム・ローチ	イギリス/2010年/105分
	6	駆込み女と駆出し男	原田真人	日本/2015年/144分
	6	ココ アヴァン シャネル	アンヌ・フォンテーヌ	フランス/2009年/110分



図書の紹介 第10位の作品



『90歳セツの新聞ちぎり絵』（分類 6-キ）

著：木村セツ 里山社 2020年

奈良県桜井市生まれ、在住の木村セツさん90歳。銀行員、養鶏、喫茶店農業…様々な仕事をしながら趣味ももたずに働き続けて彼女が、夫を亡くした明るる年、2019年元旦から始めた新聞ちぎり絵で才能が開花した。日常にあるものを題材に新聞紙を使って生み出す作品は、作る喜びに溢れ、精緻なのにユーモラス。コミカルなコメントとともに綴る、どこか懐かしく日常賛歌のような、新聞ちぎり絵+ライフ・ヒストリー。

（里山社 HP より）



『13歳からのファシリテーション』(分類Kーチ)

著：ちょんせいこ メイツ出版 2022年

ファシリテーションとは一人ひとりの意見を生かし、合意形成や課題解決を進める技術であるが、練習すれば誰もができ、誰もができると良い。この技術をみんなが持つと自分や他者の人権を尊重しながら意見を出し合い、学びを深め、課題解決に向かいやすくなるというところに共感する。みんなの意見を可視化するホワイトボードミーティングについても分かりやすい説明があり、中高校生に向けての本であるが、大人にとってもビジネスや地域の話し合いの場で役に立つ内容である。



『汝、星のごとく』(分類：10ーナ)

著：凧良ゆう 講談社 2022年

瀬戸内の島に育った暁海(あきみ)と、自由奔放な母の都合で島に転校してきた權(かい)の17歳から32歳までの物語。ヤングケアラーとして幼いころから母親を支え依存されてきた二人。ネグレクトや職場での男女格差、LGBT、ネットリンチなどの社会問題に直面し更に生きづらさ抱えるが、様々な経験や信頼できる人たちとの出会いを経て自分の人生を決めるのは自分自身だということに気付く。

自分らしく生きるにはどのような選択をすべきなのかを考えさせられる。



『定時で帰る女性の仕事ルールと時間術』(分類：7ート)

著：富山真由 ナツメ社 2019年

目の前の仕事に追われ定時に帰れないと悩む女性に、自分を無理なく動かす“行動科学”によるテクニックを紹介している。目標を決めて具体的な行動を積み重ねていくことが仕事をスムーズにこなすコツだ。

整理整頓、スケジュール管理、上司や後輩との付き合い方、モチベーションをあげる方法など、日々の仕事を効率よく進めるためのルールと時間術が学べる。仕事をがんばりたい気持ちを大切にしながら時間も心もラクになる働き方を見直せる一冊。

DVD『梅切らぬバカ』

監督：和島香太郎 2021年 日本 77分

古民家で占い業を営む山田珠子は、自閉症を抱える息子の忠男と二人で暮らしている。

ある日、忠男の通う作業所でグループホームへの入居を勧められ、高齢の珠子は息子の今後の人生を考え、思い悩んだ末に忠男の入居を決める。しかし、初めて離れて暮らすことになり環境の変化に戸惑った忠男は、ホームを抜け出しトラブルに巻き込まれてしまう。

一人ひとりと誠実に向き合い、個性や特性を尊重する社会の実現を期待したくなる作品。





『老いの福袋 ～あっぱれ! ころばぬ先の知恵 88～』（分類6-7）

著：樋口恵子 中央公論新社 2021年

評論家ヒグチさんも今や90歳。トイレで足の痛みに襲われ、突如立てなくなりドアの外へ出られなくなったり、宅配便が来てすぐさま玄関先まで辿りつかない「老いるショック」で不便な日常を経験。著者曰く「ヨタヘロ期」をころんでも立ち上がり、見果てぬ夢に向け「老年よ大志を抱け!」の心意気を持つことや、人づきあい、ユーモアは老いの味方になることなどたくさんのお知恵が詰まっている。「老いの中にも福はある」そんな気持ちで生きていく勇気の湧く一冊。



『ルース・B・ギンズバーグ名言集』（分類：10-0）

訳：岡本早織 創元社 2021年

女性として史上2人目のアメリカ合衆国連邦最高裁判事を1993年から2020年に死去するまで27年間にわたって務めたルース・B・ギンズバーグの名言集。

ジェンダーの平等や多様性の実現のために力を尽くし、次世代のために閉ざされていた扉を力強く開いた彼女の功績と信念を貫き続けた姿勢は世界中で評価されている。

本書では各名言ごとに背景や意図、関連知識などが解説され、彼女が発した言葉の意味や人柄、次世代への強い思いがより深く伝わってくる。



『マインドフルネスで「わたし」を大切にできる自分になる』（分類：3-オ）

著：萩野淳也 日本能率協会マネジメントセンター 2021年

ストレスが多い。気分がうつうつする。そんな時に実践してほしいのが「マインドフルネス」。目の前の出来事に集中している状態のことで、身につけると自分の心の健康を整えることができる方法のひとつ。

本書では仕事や休日、対人関係などのシーン別にマインドフルネスの取り入れ方をわかりやすく解説している。日常生活で疲れ切った心のサインに気付いたら、ありのままの「わたし」を大切に感じる感覚をぜひ味わってほしい。

DVD 『岬のマヨイガ』

監督：川面真也 2021年 日本 104分

居場所を失くし家出した17歳のユイと両親を事故で亡くしたショックで声を失った8歳のひより。二人の少女は偶然出会ったふしぎなおばあちゃんキワさんと、訪れた人をもてなすという伝説の家“マヨイガ”で暮らすことに。自分を信じてくれる人たちの優しさと温もりに触れ、傷ついた心は次第に解きほぐされていく。

新しく見つけた大切な家族と居場所を守るため、困難に立ち向かう二人の少女の勇敢な姿に励まされる。

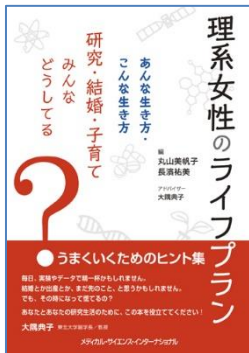




『星を掬う』(分類：10-マ)

著：町田そのこ 中央公論新社 2021年

著者にとって2021年本屋大賞を受賞後の第1作目となる小説。
 元夫の暴力やストーカーから逃れた先に幼いころに自分を捨てた母との再会があった。母は自分の想像と違った姿で登場する。身勝手な母がその後幸せに暮らし、自分の不幸は全て母親のせいだと思ってきた主人公だが、別れた後、母がどんな思いをして生活したか、また周囲の人々との愛を感じる場面に接し、自分だけがつらかったのではないこと、そして前を向いて生きる意味を見出していく。



『理系女性のライフプラン』(分類：7-マ)

編：丸山美帆子・長濱祐美 メディカル・サイエンス・インターナショナル 2018年

研究と家庭の両立をめざす研究者の体験談集。単なる成功談や苦勞自慢ではなく、多様なバックグラウンドを持つ女性研究者たちがぶつかる課題や難問を、いかにして乗り越えたのか。後進への具体的な情報やアドバイスがまとめられている。執筆者たちが利用した制度やテクニックに関する資料集も収録。

理系分野に興味や関心を持ったり、様々なキャリアのパターンを知ることができる本書。進路選択の際にも、ぜひ役立ててもらいたい。



『ちょっとしたことでうまくいく 発達障害の女性が上手に生きるための本』(分類：3-サ)

著：沢口千寛 翔泳社 2021年

発達障害をもつ女性のためのコミュニティを運営し、当事者と多くの対話を重ねてきた著者が生の声を集め、仕事、家事、育児、人間関係や身だしなみの整え方など日ごろの生活上の悩みについて、その原因と具体的な解決アイデアを詳しく紹介している。

生きづらさを感じる人の困り事を少しでも軽くするヒントはもちろん、発達障害の特性を理解することで多様性を認め合う関係づくりを考えるきっかけになる1冊。



『家族だから愛したんじゃなくて、愛したのが家族だった』(分類：10-キ)

著：岸田奈美 小学館 2020年

著者が人生で悔しさと情けなさの濁流におぼれそうになった時、助けてくれたのはいつも家族だった。友達は学校にいらなくても、パソコンの向こう側にいくらでもいると励ましてくれた父。ひとり親になってからも、明るく元気でいてくれた母。ダウン症で知的障がいがありつつ、行動力のある弟。そんな岸田家の日々がユーモアとたくさんの愛で溢れた作品となっている。笑いたい、楽しみたいという思いのこもった著者の言葉選びは、ほんものの豊かさが伝わってくる。



『87歳、古い団地で愉しむひとりの暮らし』（分類：6ータ）

著：多良美智子 すばる舎 2022年

老後は生活費のやり繰りどうしよう。どうしたら人に迷惑をかけずに死んでいけるのか。そんな心配が一変。こんな風に生きられたらいいなと著者が過ごす日々が惹き込まれる。年を重ね、できないが増えてもできることでおおいに頑張り今が一番幸せという。長年住み続けた団地の部屋を居心地よく整え、調理は簡単でおいしい食事。読書、裁縫、ウォーキング…ひとりの醍醐味。将来を心配しすぎず今を愉しむ。孫が彼女を動画に撮りYouTubeにアップするとまたたく間に人気チャンネルになったというというエピソードも。

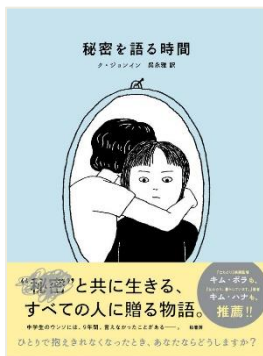


『モヤる言葉、ヤバイ人～自尊心を削る人から心を守る「言葉の護身術」』（分類：1ーア）

著：アルテシア 大和書房 2021年

「いい奥さんになりそうだね」「子どもを産めば仕事の幅が広がるんじゃない？」など、マウンティング、セクハラ、パワハラで受ける言葉を取り上げ、その原因のひとつであるジェンダーバイアスと対処法を教えてくれる。弁護士の太田啓子さんとの対談「法律の護身術」も収録。

押し殺していた感情を言葉にし、一人一人が声を上げることで社会は変えられる。性別による固定観念から身を守る方法を知れば、心豊かに生きていく力が湧いてくる。



『秘密を語る時間』（分類：2ーク）

著：ク・ジョンイン 柏書房 2021年

中学生の主人公は、幼いときに知らない人から性的な被害を受けたことを誰にも相談できず、ひとりで抱えきれなくなる。悩んだ末に親友に打ち明け、やがて「自分は何も悪くない、何も間違ってたかった」ことに気づく。

性被害者の心の傷の深さ、自分や周りの人を責め苦悩する心情、また親身になって気持ちに寄り添う人たちの姿が漫画で描かれており、「信頼のおける人には苦しみや悲しみを分かち合ってもいい」「悪いのはあなたじゃない」という著者のメッセージが伝わってくる。

DVD 『チャンシルさんには福が多いね』

監督：キム・チョヒ 2019年 韓国 96分

映画プロデューサーをしていたチャンシルさんは、長年支えてきた監督の急死を機に失職。仕事一筋だったアラフォー女子が、恋人も子どもも家もなく、青春さえも棒に振っていたことを思い出し、途方に暮れる。そんなある日、思わぬ恋の予感が訪れ、身近な人の優しさにも触れ、自分にとっての幸せとは何かを探し始めるチャンシルさん。さて彼女が最後に選んだ道とは？

